

平成 25 年 度
(2013年度)

香川大学大学院農学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

(一 般 選 拔 前 期)
(社会人特別選抜前期)

平成24年 6 月

香川大学大学院農学研究科

〒761－0795 香川県木田郡三木町池戸2393
電話 （087） 891－3015

アドミッションポリシー（要約）

（詳細は、<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/apply/admission.html>）

本研究科では、生物がもつ多様な機能を探究し、応用生物科学領域の学術的展開を図るとともに、有用資源の創成や活用に関する応用技術の開発に向けた先端的かつ総合的な教育・研究を行います。生物資源の生産と利用に関する高度な専門知識と技能、課題探求と解決能力、及び実践的能力を備えた人材育成と、国際水準の学術的研究を通じて広く社会への貢献を目指します。

生物資源生産学専攻

本専攻には食料の安定供給のため、生物資源の生産性向上と生産環境の適正化を図る食料生産学領域、園芸資源の高度利用と生産や流通貯蔵技術の開発を行う園芸科学領域、生態系の構造と機能を解明し、その保全・修復を図る環境生態機能学領域があります。本専攻では、人類生存の要である生物資源の開発と生産及び資源の持続的活用の基盤である環境の創造・保全に強い関心を持ち、これらの領域に関する高度な専門知識と技術を積極的に修得して、地域あるいは国際的な視点から、食料や環境に関する基礎及び応用的課題を探究し解決したいと考える実践力豊かな学生を求めます。

生物資源利用学専攻

本専攻には生物資源の機能物質の探索、生合成のしくみを明らかにする生物分子化学領域、植物の持つ機能を分子、遺伝子のレベルで解明する植物科学領域、分子、細胞、個体レベルでの微生物と動物の機能や生命現象を明らかにする生命機能科学領域、食品の生体調節・健康増進機能に関する諸研究と食品開発を目指す食品科学領域があります。本専攻では、微生物や動植物のもつ多様性と機能性を分子レベルで科学的に解析することに興味があり、その得られた高度な専門知識と技術を豊かな生活を持続するために不可欠な「バイオサイエンス」分野や「健康」と「食品」に関連する諸課題の解決に積極的に役立てたいと考える学生を求めます。

希少糖科学専攻

本専攻には生物の糖質生産機構の解明と希少糖の大量生産システムの開発を図る生産学領域、糖質の人間及び動植物に対する生体調節機能の解析を図る機能解析学領域、医薬品、化粧品、食品動植物生理活性剤の開発を図る利用学領域があります。本専攻では、生物生産及び生物資源の開発と利用に関心を持ち、糖質バイオサイエンスを中心とした高度な専門知識を積極的に修得するとともに、新しいバイオ素材の開発を目的とする希少糖バイオテクノロジーの分野で、医学部、地域研究機関、民間会社と連携して世界レベルの基礎研究、応用開発を行いたいと考える学生を求めます。

平成25年度入試概要

選抜方法		特 別 選 抜 ²⁾ (自己推薦方式)	一般選抜・社会人特別選抜		外国人留学生 特 別 選 抜
			前 期	後 期	
1) 募集人員等	生物資源生産学専攻 (合計25人)	12	13	若干人	若干人
	生物資源利用学専攻 (合計25人)	12	13	若干人	若干人
	希少糖科学専攻 (合計10人)	5	5	若干人	若干人
日 程 等	募 集 期 間	平成24年 6月11日(月)～ 6月21日(木)	平成24年 7月19日(木)～ 7月26日(木)	平成24年12月12日(水)～12月19日(水)	
	試 験 日	7月5日(木)	8月22日(水)・ 23日(木)	平成25年1月24日(木)	
	試 験 種 目	口 頭 試 問 ³⁾	筆 記 試 験 (外国語・専門) ⁴⁾ 口 頭 試 問 ³⁾	プレゼンテーション ⁵⁾ と口頭試問 ³⁾	
	合 格 発 表	平成24年 7月13日(金)	平成24年 9月7日(金)	平成25年2月15日(金)	

注 1) いずれの選抜方法でも、募集人員以上の合格者を出すことがあります。外国人留学生については、平成24年12月頃に募集する外国人留学生特別選抜でも受験できます。社会人については、一般選抜前期・後期と同日に実施される社会人特別選抜でも受験できます。

2) 特別選抜（自己推薦方式）の受験資格について

大学在学中のものは、平成24年3月31日時点で卒業要件単位のうち100単位以上取得しており、かつ優以上が60単位以上であること（学校教育法第89条の規定によるものはこの条件を満たさなくても出願資格がある）。編入学生については、3年次に取得した単位の6割以上が優以上であること。既卒者は、修得単位のうち6割以上が優以上であること。

3) 口頭試問では、提出書類を参考にしながら、志望動機、修学に必要な知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを審査します。

4) 筆記試験の専門は、志望教員の専門分野から出題されます。

5) 卒業研究の内容と進学後の研究計画を口頭発表してください。ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない学生等については、志望理由と進学後の研究計画を口頭発表してください。なお、口頭発表にはパソコンとプロジェクターを使用することができます。

目 次

平成25年度香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項（一般選抜前期）

1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願資格審査について	1
4. 出願方法	2
5. 入学者選抜方法	3
6. 試験の期日及び場所	3
7. 合格者発表	3
8. 入学手続	3
9. 注意事項	4

平成25年度香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項（社会人特別選抜前期）

1. 趣旨及び目的	5
2. 専攻及び募集人員	5
3. 出願資格	5
4. 出願資格審査について	5
5. 出願要件	6
6. 出願方法	6
7. 出願書類等	7
8. 入学者選抜方法	7
9. 試験の期日及び場所	7
10. 合格者発表	8
11. 入学手続	8
12. 社会人の受け入れ	8
13. 特例措置による教育の概要	8
14. 注意事項	9

農学研究科教員名及び専門分野一覧表	11
-------------------------	----

平成 25 年 度 香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項 （一般選抜前期）

1. 専攻及び募集人員

専 攻	募 集 人 員
生 物 資 源 生 産 学 専 攻	13人
生 物 資 源 利 用 学 専 攻	13人
希 少 糖 科 学 専 攻	5人

※募集人員以上の合格者を出すことがあります。

2. 出 願 資 格

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成25年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者及び平成25年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定（いわゆる飛び入学）により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があり、受験資格があると本大学院が認めた者で、22歳に達したもの及び平成25年3月31日までに22歳に達するもの

3. 出願資格審査について

出願資格の(8)・(9)により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

- (1) 提出書類等（表中以外の書類を請求する場合があります。）

審査書類等	摘 要
出願資格審査申請書	本学所定の用紙を使用してください。
成 績 証 明 書	最終学歴のもの
卒業（修了）証明書	最終学歴のもの 出願資格の(8)により出願しようとする者は在学証明書
研 究 業 績 調 書	本学所定の用紙*を用い、最終学歴後の学習・研究・実務の状況を記載してください（2,000字以内）。

*申請前にお問い合わせください。

(2) 申請書類等の提出期限

平成24年7月2日(月)17時まで(必着)

- ・窓口受付時間は、9時から17時までとします。
- ・郵送の場合は、期限内に**必着**するようにしてください。

なお、期限を過ぎて到着したものは受理しません。

(3) 出願資格審査の方法

提出書類により行います。なお、本大学院が必要と認めた場合は、面接を行います。

(4) 出願資格審査書類の提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願資格審査書類を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。)

4. 出 願 方 法

(1) 出 願 期 間

平成24年7月19日(木)から7月26日(木)まで。

受付時間は、9時から17時までです。

郵送の場合は、7月26日(木)17時必着とします。7月26日(木)17時以降に着いた場合は、7月24日(火)までの消印があり、かつ、「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

(2) 出願書類等提出先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願書類等を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。)

(3) 出 願 書 類 等

入 学 願 書	本学所定の用紙により、作成してください。
成 績 証 明 書	各大学等の所定のもの。
卒 業 証 明 書	在学中の者は卒業見込証明書
検 定 料	30,000円。入学願書と一連の「振込依頼書(入金票)」及び「領収書」に必要事項を記入の上、平成24年7月11日(水)～平成24年7月26日(木)の間に金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。ただし、上記によりがたい場合は、香川大学入試グループへご照会ください。 (電話 (087) 832-1182)
受 験 票 ・ 写 真 票	写真票には、出願前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真(4cm×3cm)を、所定の箇所に貼付してください。
受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、360円分の郵便切手を貼付してください。
そ の 他	外国人の志願者は、上記の出願書類のほかに在留資格を証明するもの(旅券の写等)を添付してください。

【注】① 在職中の者は、入学及び修学に支障を来さないよう勤務先において手続を取っておいってください。
なお、入学手続時には、所属長等の入学承諾書(様式自由)を提出してください。

② 出願資格(2)該当者は、卒業証明書に代えて次の書類のうち1つを提出してください。

1) 学位記の写し又は学位授与証明書(大学評価・学位授与機構が作成したもの)

2) 修了見込証明書(在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの)

3) 学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書(大学評価・学位授与機構が作成したもの)又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書(在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの)

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び口頭試問）、成績証明書等の書類を総合して行います。

(1) 筆記試験

専攻	専門	外国語
生物資源生産学専攻	志望専門分野の科目を受験してください。	英語
生物資源利用学専攻		
希少糖科学専攻		

(2) 口頭試問

志望する専攻において行います。口頭試問では、成績証明書等を参考にしながら、志望する動機と修学に必要な基礎的及び専門的知識、論理的思考能力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを評価します。

6. 試験の期日及び場所

月日(曜)	検査種目	時間	場所
8月22日(水)	(受付)	9:00～9:45	香川大学農学部
	外国語	10:00～12:00	
	専門	13:00～14:30	
8月23日(木)	口頭試問	10:00～	

7. 合格者発表

平成24年9月7日(金)午前10時頃(予定)農学部内に発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。(電話による照会には応じません。)

また、本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。

香川大学ホームページ：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

【注】：ホームページへの掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、
公式の合格者発表は農学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

8. 入学手続

合格者は、平成25年3月26日(火)又は3月27日(水)に、直接来学の上、入学手続を完了してください。
受付時間は、9時から17時までです。

郵送する場合は、簡易書留速達にして、3月27日(水)17時までに必着するように送付してください。

所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

また、入学手続書類は平成25年2月下旬頃に発送します。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

(1) 本学所定の誓約書、保証書 各1部

(2) その他本研究科に必要な書類

(3) 納付金

入 学 料 282,000円(予定)

授 業 料	前期分	267,900円(予定)
	(年額)	535,800円(予定)

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、平成25年4月1日から4月30日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1) 入学手続を行わなかった場合

2) 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、平成25年4月1日付で入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

9. 注 意 事 項

(1) 受験希望者は、出願前に、志望教員と進学後の研究内容などについて相談してください。

※ 志望教員とは、受験者が入学後に指導を希望する教員を指します。

(2) 外国人留学生について

外国人留学生については、平成24年12月頃に募集を行うので、農学部学務係へ照会してください。

(3) 出願資格(2)に該当する合格者が、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与されなかった場合には、入学を許可しません。(学士の学位を授与されなかった場合には、その旨を、在籍又は出身の短期大学長又は高等専門学校長から、本研究科長まで速やかに通知してください。)

(4) 障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な措置を希望する者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：平成24年7月2日(月)までとします。

相談の方法：申請書(様式自由、健康診断書等必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

連 絡 先：香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(5) その他の注意

① 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1) 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 上記1)又は2)に該当される方は、香川大学入試グループ(電話087-832-1182)へご連絡ください。

② 検査実施の詳細については、8月22日(水)に指示しますので、受験者は当日9時45分までに受付を完了してください。

③ 願書等について照会する場合には、返信用として自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手80円分を貼付した封筒(定形のもの)を同封し、農学部学務係まで申し込んでください。

平成 25 年 度

香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項

（社会人特別選抜前期）

1. 趣旨及び目的

現代社会の高度化・複合化と高齢化の進行に伴い、本格的な生涯学習の時代が到来しています。また、自治体・企業や学校教育の現場においても、国際化・高度情報化と各般の技術革新に対応しうよう、職員・社員・教員のリカレント教育の必要性が認められ、その機関として大学院が重視されています。

農学研究科では、設置の趣旨・目的を深い専門知識を有する高度技術者・研究者の養成に置けていますが、その目的を達するためにも、このような要請に応じて、社会人の受け入れを2つの制度に基づき行っています。（「12. 社会人の受け入れ」参照）

2. 専攻及び募集人員

専 攻	募 集 人 員
生 物 資 源 生 産 学 専 攻	} 若干人
生 物 資 源 利 用 学 専 攻	
希 少 糖 科 学 専 攻	

3. 出 願 資 格

- （1）学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成25年3月までに授与される見込みの者
- （3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成25年3月までに修了見込みの者
- （7）文部科学大臣の指定した者及び平成25年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- （8）短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があり、受験資格があると本大学院が認めた者で、22歳に達したもの及び平成25年3月31日までに22歳に達するもの

4. 出願資格審査について

出願資格の(8)により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は次のとおりです。

- (1) 提出書類等（表中以外の書類を請求する場合があります。）

審査書類等	摘 要
出願資格審査申請書	本学所定の用紙を使用してください。
成 績 証 明 書	最終学歴のもの
卒業（修了）証明書	最終学歴のもの
研 究 業 績 調 書	本学所定の用紙*を用い、最終学歴後の学習・研究・実務の状況を記載してください（2,000字以内）。

*申請前にお問い合わせください。

- (2) 申請書類等の提出期限

平成24年7月2日（月）17時まで（必着）

- ・窓口受付時間は、9時から17時までとします。
- ・郵送の場合は、期限内に必着するようにしてください。

なお、期限を過ぎて到着したものは受理しません。

- (3) 出願資格審査の方法

提出書類により行います。なお、本大学院が必要と認めた場合は、面接を行います。

- (4) 出願資格審査書類の提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015（直通）

（出願資格審査書類を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。）

5. 出 願 要 件

社会人特別選抜を出願することができる者は、上記の出願資格のいずれかに該当する民間企業及び国・地方公共団体等の職員です。

【注】 入学志願者は、出願前に必ず志望教員と研究テーマ及び教育方法等について、事前相談で確認し、出願の承諾を得た上で、出願してください。

なお、不明な点があれば下記の学務係までお問い合わせください。

6. 出 願 方 法

- (1) 出 願 期 間

平成24年7月19日（木）から7月26日（木）まで。

受付時間は、9時から17時までです。

郵送の場合は、7月26日（木）17時必着とします。7月26日（木）17時以降に着いた場合は、7月24日（火）までの消印があり、かつ、「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

- (2) 出願書類等提出先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015（直通）

（出願書類等を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。）

7. 出 願 書 類 等

入 学 願 書	本学所定の用紙により，作成してください。
成 績 証 明 書	各大学等の所定のもの。
志 望 理 由 書	本学所定の様式により，2,000字程度
出 願 承 諾 書	本学所定の用紙により，作成してください。
卒 業 証 明 書	在学中の者は卒業見込証明書
検 定 料	30,000円。入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上，平成24年7月11日（水）～平成24年7月26日（木）の間に金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。ただし，上記によりがたい場合は，香川大学入試グループへご照会ください。（電話（087）832－1182）
受 験 票 ・ 写 真 票	写真票には，出願前6か月以内に撮影した正面，上半身無帽の写真（4 cm×3 cm）を，所定の箇所に貼付してください。
受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に自己の住所，氏名及び郵便番号を明記し，360円分の郵便切手を貼付してください。
そ の 他	外国人の志願者は，上記の出願書類のほかに在留資格を証明するもの（旅券の写等）を添付してください。

【注】 出願資格(2)該当者は，卒業証明書に代えて次の書類のうち1つを提出してください。

- (1) 学位記の写し又は学位授与証明書（大学評価・学位授与機構が作成したもの）
- (2) 修了見込証明書（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）
- (3) 学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書（大学評価・学位授与機構が作成したもの）
又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）

8. 入学者選抜方法

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験及び口頭試問），成績証明書等の書類を総合して行います。

(1) 筆 記 試 験

専 攻	専 門
生 物 資 源 生 産 学 専 攻	志望専門分野の科目を受験してください。
生 物 資 源 利 用 学 専 攻	
希 少 糖 科 学 専 攻	

(2) 口 頭 試 問

志望する専攻において行います。口頭試問では，成績証明書等を参考にしながら，志望する動機と修学に必要な基礎的および専門的知識，論理的思考能力，自分の考えを的確に伝える表現力，勉学・研究に対する意欲などを評価します。

9. 試験の期日及び場所

月 日(曜)	検 査 種 目	時 間	場 所
8月22日(水)	(受 付)	12:30～12:45	香 川 大 学 農 学 部
	専 門	13:00～14:30	
8月23日(木)	口 頭 試 問	10:00～	

10. 合格者発表

平成24年9月7日（金）午前10時頃（予定）農学部内に発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。（電話による照会には応じません。）

また、本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。

香川大学ホームページ：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

【注】：ホームページへの掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、

公式の合格者発表は農学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

11. 入学手続

合格者は、平成25年3月26日（火）又は3月27日（水）に、直接来学の上、入学手続を完了してください。受付時間は、9時から17時までです。

郵送する場合は、簡易書留速達にして、3月27日（水）17時までに必着するように送付してください。

所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

また、入学手続書類は平成25年2月頃に発送します。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- (1) 本学所定の誓約書、保証書 各1部
- (2) 入学承諾書1部（勤務先の所属長が作成したもの）：大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を希望しない者（12. 社会人の受け入れ（1）の制度によるもの）
- (3) その他本研究科に必要な書類
- (4) 納付金

入 学 料 282,000円（予定）

授 業 料	前期分	267,900円（予定）
	（年額）	535,800円（予定）

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、平成25年4月1日から4月30日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- 1) 入学手続を行わなかった場合
- 2) 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、平成25年4月1日付で入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

12. 社会人の受け入れ

農学研究科では、社会人の受け入れを次の2つの制度に基づき行っています。

- (1) 事業所において、①休職制度、②研修制度、③派遣制度、④その他勤務場所を離れ、指導教員の下で常時研究指導を受けることのできる措置に基づき、職務専念の義務を免除され、学業に専念できる者を対象としたもの。

これは、平日の昼間に研究指導を行う制度です。

- (2) 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（13. 特例措置による教育の概要参照）による教育を受ける者を対象としたもの。

これは、勤務時間等の都合上昼間だけの学習が困難な社会人に対し、夜間その他特定の時間又は時期において研究指導を行う制度です。

13. 特例措置による教育の概要

- (1) 標準修業年限

農学研究科（修士課程）の標準修業年限は2年です。

- (2) 履修方法

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨を活用し、現に職業を有する社会人学生の履修に

際してその便宜を図るため、以下の履修方法を採用します。

- ① 社会人で上記特例の適用を受けようとする者は、あらかじめ志望教員と修学の条件等について十分確認し、その希望を入学願書に明記の上で出願することとします。
- ② 上記特例を適用する場合、学生は、2年のうち最初の1年間は通常の時間帯による履修を原則とします。ただし、必要に応じて夜間及び長期休業期間中に指導教員との協議により特別のカリキュラムを作成することができます。
- ③ 指導教員の指導の下に特に綿密な履修計画を立てることとします。
- ④ 課程修了にあたって提出する学位論文の扱いについては、「大学院設置基準第14条に定める方法により教育を行う場合の手続き等について」（昭和57年11月16日文部省大学局長通知）の趣旨を尊重するものとします。

(3) 授業の実施方法

上記の特例による授業は、原則として夜間の2時限分（18時～19時30分及び19時40分～21時10分、6時限及び7時限に相当）及び土曜日に実施するものとし、当該授業担当教員と履修希望学生の実情に即して柔軟に対応します。

14. 注 意 事 項

- (1) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合※ 上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループ（電話087-832-1182）へご連絡ください。
- (2) 検査実施の詳細については、8月22日（水）に指示しますので、受験者は当日12時45分までに受付を完了してください。
- (3) 願書等について照会する場合には、返信用として自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手80円分を貼付した封筒（定形のもの）を同封し、農学部学務係まで申し込んでください。
- (4) 出願資格(2)に該当する合格者が、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与されなかった場合には、入学を許可しません。（学士の学位を授与されなかった場合には、その旨を、在籍又は出身の短期大学長又は高等専門学校長から、本研究科長まで速やかに通知してください。）
- (5) 障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な措置を希望する者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：平成24年7月2日（月）までです。

相談の方法：申請書（様式自由、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

連 絡 先：香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015（直通）

農学研究科教員名及び専門分野一覧表

専攻	氏 名	専門分野名	おもな研究内容
生物資源生産学専攻	伊藤 文紀	昆虫生態学	社会性昆虫の行動と生態（特にアジア熱帯におけるアリ類の多様性、侵略アリの生態に関する研究）
	奥田 延幸	蔬菜園芸学	蔬菜の発育制御並びに優良系統の育成・増殖
	片岡 郁雄	果樹園芸学	環境や植物成長調節物質による果樹の発育調節、果樹資源の探索、評価と品種改良
	川田 和秀	園芸利用生理学	果実、野菜、花の流通・貯蔵における生理学的特性の解析と鮮度保持技術の開発
	楠谷 彰人 ※	作物生産生態学	①作物の潜在生産力に対する生理生態学的解析とその育種の利用 ②作物の品種分化に関する遺伝生態学的研究
	鈴木 晴雄 ※	農業気象学	作物栽培における微気象環境の調節改良
	高村武二郎	園芸資源開発学	園芸植物遺伝資源の評価と育種への利用ならびに園芸植物の花色発現の遺伝的・環境的制御
	多田 邦尚	生物・化学海洋学	沿岸海域の低次生物生産過程における生元素の挙動
	田中 道男 ※	園芸種苗学	マイクロプロパゲーションによる園芸植物のクローン苗生産技術および培養システムの開発
	豊田 正範	作物生態生理学	作物の収量形成に関する生態生理学的・発育形態学的研究
	橋口 峰雄 ※	家畜飼養学	栄養的制御による家畜の成長と繁殖の調節に関する研究
	深井 誠一	花き園芸学	花き園芸植物を対象にした開花生理、遺伝子組換え、遠縁交雑、品質保持に関する研究
	別府 賢治	果樹発育生理学	果樹の結実性に関する形態学および生理学的研究
	菱輪 雅好 ※	農業施設学	畜舎の環境調節に関する伝熱工学的諸問題を数理解析的手法を用いて研究している
	望岡 亮介	果樹栽培学	①果樹野生資源植物の評価、園芸学的利用、新品種の開発等 ②園芸新素材（産業廃棄物を再生したシートマルチ等）の評価
	柳 智博	施設園芸学	施設生産が盛んなイチゴを材料に、生産性や品質を向上させる栽培技術の開発、野生種を利用した育種について研究を行っている
	山内 高円 ※	畜産学	腸管機能を活性化させる自然物質を添加した飼料で鶏を飼育し、その効果を腸管の組織学的変化（光顕・電顕）で検討している
	東江 栄	資源植物機能学	①資源植物の生理機能の解明および農業的利用に関する研究 ②植物の環境ストレス応答（耐性）機構の解明に関する研究
	一見 和彦	浅海生産環境学	沿岸域における一次生産者を主とした生物生産環境とそれに関わる物質循環過程について
	亀山 宏	農業経営学	地域農業の発展戦略と経営管理
	小杉 祐介	園芸利用理工学	切り花・野菜の鮮度・品質に関わる生理特性およびその関連遺伝子の解析
	小林 剛	植物生態学	①陸生高等植物の生活史と生理生態 ②植物集団の構造と動態 ③生態系における生物間相互作用、生物多様性および物質循環
	鳴海 貴子	花き園芸資源科学	花き園芸植物の花の咲く仕組み、花形態制御機構の解明、新形質花き作出技術の開発に関する研究

※は、募集しない教員名。

専攻	氏 名	専門分野名	おもな研究内容
生物資源生産学専攻	松村 伸二	気象災害学	気象災害の発現機構の解明と対策
	諸隈 正裕	作物栽培学	水稻の多収性に関する栽培学的研究
	安井 行雄	進化生態学	動物（主に昆虫）の社会行動や環境に対する適応について、ダーウィンの自然淘汰・性淘汰理論に基づいて研究している
	山田 佳裕	生物地球化学	①水域における生元素循環に関する研究 ②水域生態系の評価法の開発
	武藤 幸雄	農業経済学	農業保護政策の形成過程と環境保全型農業技術の普及過程に関する経済学的研究
生物資源利用学専攻	秋光 和也	分子植物病理学	植物・病原菌間の相互反応に関する遺伝子の解明とその制御
	岡崎勝一郎	細胞工学	海洋細菌由来多糖の免疫機能解析とその応用 真菌細胞壁構成多糖分解酵素の細菌由来遺伝子解析
	小川 雅廣	食品タンパク質化学	食肉，食卵，魚介類，乳などの動植物性食品に含まれるタンパク質の機能改善に関する研究
	片山 健至	森林バイオマス化学	樹木等の高等植物の生物活性成分の探索，有機化学及び生合成，並びに木質バイオマスの化学的利用
	加藤 尚	植物生化学	植物の発生と分化に関する生化学的・分子生物学的研究
	亀下 勇	動物機能生化学	タンパク質リン酸化反応を介した細胞内情報伝達メカニズムの解析 細胞内に発現するプロテインキナーゼの網羅的解析
	川浪 康弘	機能分子化学	生物機能分子の有機化学的研究
	川村 理	食品衛生学	マイコトキシンに対するモノクローナル抗体の作製と免疫化学的測定法の確立 マイコトキシンの食品汚染とヒト曝露量調査およびリスク評価に関する研究
	木村 義雄	微生物生理学	細菌における栄養，温度，浸透圧などの環境変化に対する適応機構の解明
	京 正晴	植物細胞制御学	植物細胞の個体発生の誘導方法とその制御機構に関する研究
	合谷 祥一	食品物理学	食品の物理的特性の解析及び食品に適した界面科学的乳化に関する基礎研究
	佐藤 正資	生物活性化学	天然物の単離・同定，天然物のヒト・動物に対する生物活性，抗線虫薬の創製
	田村 啓敏	食品機能化学	食品の感覚機能（嗅覚，視覚感覚）特性及び動物細胞による生理機能特性の化学的解析研究
	深田 和宏	生物物理化学	生体関連両親媒性物質の物理化学的な性質と機能性発現機構に関するコロイド・界面化学的研究
	藤田 政之	植物ストレス応答学	高等植物の環境ストレスに対する応答反応・耐性機構に関する生理・生化学並びに分子生物学
	松尾 達博	栄養学	食餌と運動が動物の生体内代謝に及ぼす影響およびそれらの相互作用の評価
	吉井 英文	食品工学	機能性食品粉末の創製，食品粉末の緩和現象解析および糖質の新規晶析手法の開発に関する研究を行う
	池田 新矢 ※	食品加工・物性学	食品加工操作に伴う食品物性変化の予測と制御
	市村 和也	植物ゲノム機能解析学	植物免疫を含めた環境ストレス情報伝達機構の解析，およびゲノム機能解析

※は、募集しない教員名。

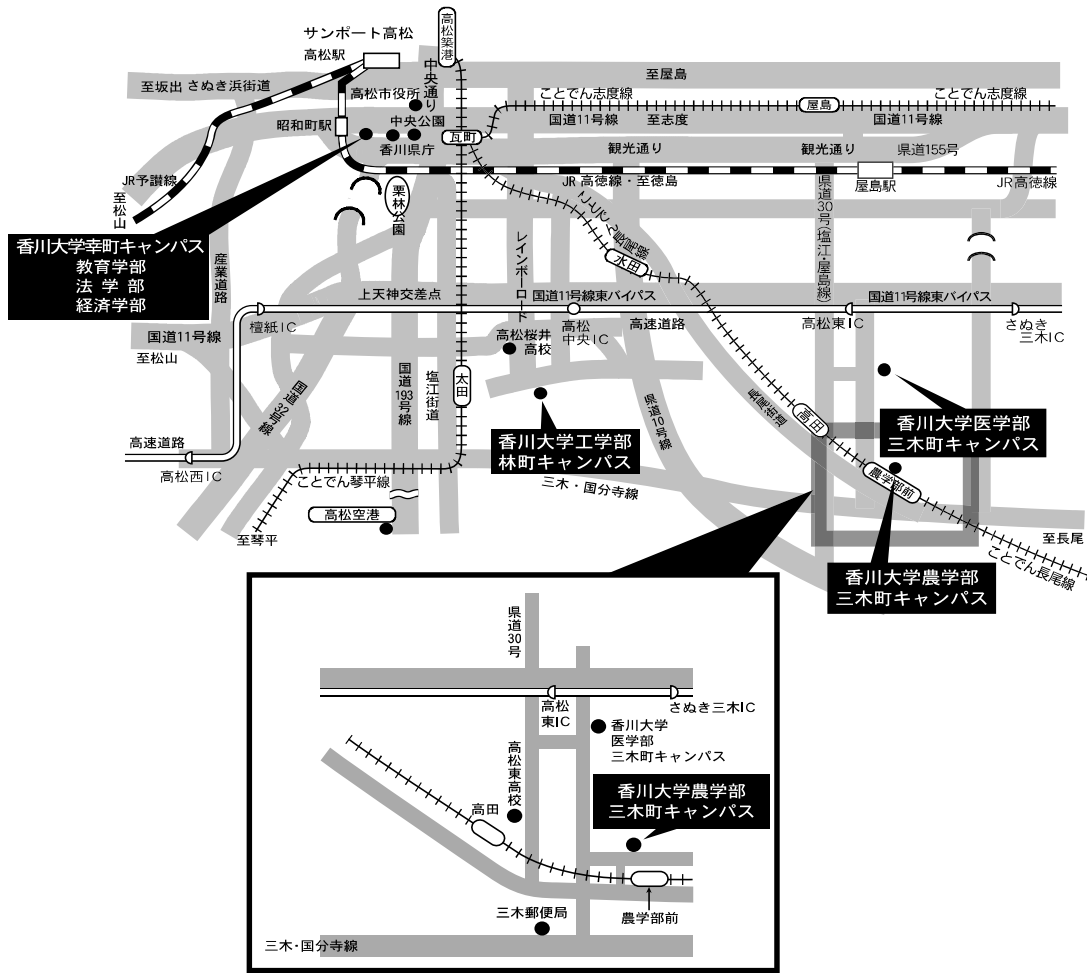
専攻	氏 名	専門分野名	おもな研究内容
生物資源利用学専攻	五味 剣二	植物防衛応答学	植物の病原微生物に対する防衛機構の遺伝子レベルでの解析
	末吉 紀行	分子細胞生物学	動物細胞における情報伝達，特に，タンパク質リン酸化・脱リン酸化を介した細胞内情報伝達機構の解明
	杉田(小西)左江子※	植物分子遺伝学	イネ科作物，主にイネのゲノム情報を用いた有用遺伝子の遺伝解析，遺伝子単離および機能解析
	鈴木 利貞	バイオマス化学	樹木のリグナン・ネオリグナンの生合成・立体化学・化学合成；外樹皮のスベリンの構造と生合成；熱帯産樹木の生物活性成分の探索
	多田 安臣	植物分子生物学	ストレス応答に関与する植物ホルモンシグナル伝達機構の解析
	田中 直孝	細胞生物学	真核細胞を用いた糖タンパク質の機能解析及び糖鎖生合成機構の解析
	田淵 光昭	応用分子細胞生物学	酵母および動物培養細胞を用いた生命現象の動作原理の解明とその応用
	野村 美加	分子植物栄養学	植物微生物相互作用に関する生化学的，分子生物学的解析
	古本 敏夫	植物機能化学	植物成分の探索・利用・生合成機構および植物機能に関する化学的研究
	渡邊 彰	微生物生化学	微生物，特にキノコ類が示す生命現象の解析（遺伝子・タンパク質レベルから個体レベルまで）とその応用面に関する研究
希少糖科学専攻	麻田 恭彦	微生物利用学	担子菌キノコが示す生命現象の生化学的・分子生物学的解析とその応用，並びに希少糖が菌類に及ぼす生理的影響の解析
	何森 健 ※	酵素利用学	酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し，その用途に関する研究を行う
	神島 成弘	構造生物化学	単糖，オリゴ糖，多糖を基質とする酵素，および糖鎖認識結合タンパク質の3次元構造と機能との関係について研究を行う
	櫻庭 春彦	酵素工学	微生物，特に極限環境に生育する微生物が生産する酵素の機能および構造解析とその応用面の研究
	田島 茂行 ※	植物栄養生理学	高等植物の栄養生理における共生微生物の役割及び自然界に存在量の少ない希少糖の高等植物代謝に与える役割の分子生物学的研究
	徳田 雅明	細胞生理学	希少糖のもつ生理活性を機能性食品や医薬品に応用する研究を行う
	仲山 賢一	糖質機能生物学	糖鎖・糖脂質による細胞表層シグナルおよび免疫系の制御に関する研究を行う
	早川 茂 ※	食品機能設計学	食品タンパク質及び糖質が持っている食品安全性機能と食品加工機能を分子レベルで解析し，高い機能性を有する食品を考案する
	細川 純	糖質機能工学	希少糖を含む種々の糖質生産や機能付加技術，利用に関する研究を行う
	Matti Leisola ※	糖質生産工学	生物機能を利用する，糖質生産技術の開発
	石田 豊 ※	糖質生化学	植物や微生物に希少糖が及ぼす生理的作用の解析，並びにこれら生物に及ぼす各種環境要因の影響に関する研究
	木村 功	食品微生物利用学	食品関連微生物の生産する酵素や代謝産物などの工業利用に関する研究を行う
	吉田 康一	脂質機能工学	糖脂質を含む種々の脂質化合物の機能解析や新規材料の開発，利用に関する研究を行う
	安部 博子	糖質生物学	出芽酵母を利用して有用糖タンパク質を生産するための手法の確立および糖質の免疫制御機能についての研究を行う

※は，募集しない教員名。

専攻	氏 名	専門分野名	おもな研究内容
希少糖科学専攻	高田 悟郎	応用酵素化学	微生物の生産するセルロース分解酵素及び希少糖生産酵素に関する分子生物学的研究
	中北 慎一	糖鎖生物学	生体内における糖鎖の生物学的機能を、その化学構造側からの研究に焦点を当て、どのような意味を持つかについて研究を行う
	森本 兼司	酵素利用学	酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し、その用途に関する研究を行う
	吉田 裕美	蛋白質工学	3次元構造情報に基づく分子設計および部位特異的変異法による、単糖、オリゴ糖、多糖を基質とする酵素の機能改変についての研究を行う

※は、募集しない教員名。

香川大学試験場案内図



農 学 部

電 車	ことでん長尾線「ことでん高松築港駅」――(約30分)――→「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m)
バ ス	大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば) 「高松駅」――→「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m)
タ ク シー	J R高松駅――→香川大学農学部 約40分 約4,400円

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自が確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

~~7~~